

プログラム

第1日目 平成30年7月6日 (金)

9:10 受付開始

9:10~9:30 ポスター設置タイム

9:30~9:40 開会の辞：年会長 沼澤 聡 (昭和大薬)

9:40~11:05 一般講演① (乱用薬物の代謝と毒性)

座長 石井 祐次 (九大院・薬)、金森 達之 (科警研)

O-01

HU-210のヒト肝ミクロソームによる代謝および関与する主な CYP 分子種

○渡邊 和人¹、山折 大²、宇佐見 則行³、長谷川 雄司¹、荒牧 弘範¹

(¹第一薬大、²信州大病薬、³北陸大薬)

O-02

ヒト肝細胞によるブチリルフェンタニルの代謝

○金森 達之、岩田 祐子、瀬川 尋貴、山室 匡史、桑山 健次、辻川 健治、井上 博之 (科警研)

O-03

銅触媒による3成分カップリング反応を用いたゾルピデム代謝物の合成

○山口 晃志¹、増田 優紀^{1,2}、普神 敬悟³、石川 慎吾³、大野 曜吉¹

(¹日医大・法医、²明薬大、³東医大・化)

O-04

合成カンナビノイドJWH-018による学習記憶障害機構: DNAマイクロアレイ解析

○李 任時¹、福森 良²、武田 知起¹、宋 穎霞¹、森元 聡³、渡邊 和人⁴、有竹 浩介⁴、山口 拓²、花尻 (木倉) 瑠理⁵、田中 嘉孝⁶、山本 経之²、石井 祐次¹

(九大院薬・¹分子衛生、³生薬学、⁶細胞生物、²長崎国際大薬、⁴第一薬大、⁵国立衛研)

O-05

XLR-11 熱分解物の興奮作用発現メカニズムの解析

○籾岡 恭子、光本 (貝崎) 明日香、沼澤 聡 (昭和大薬)

O-06

マウスを用いたNMDA受容体アンタゴニストによる合成カンナビノイド由来異常行動の増強効果と性差による違い

○土屋 弥月¹、井口 亮²、林 由美^{3,4}、中山 浩⁵、大原 倫美¹、牧野 宏章⁵、土橋 均¹、石井 晃¹、高橋 秀衣⁵、財津 桂^{1,4}

(¹名大医・法医、²産総研、³名大医・病態解析、⁴名大・高等研究院、⁵東理大薬)

11:05~12:15 特別講演 座長 沼澤 聡 (昭和大薬)

中毒をめぐる鑑定上の法的な諸問題

城 祐一郎 (昭和大医・法医、元最高検察庁)

12:30~13:30 ランチョンセミナー1

ランチョンセミナー2

主催 アジレント・テクノロジー株式会社

主催 SCIEX

13:35～14:45 ポスターセッション（奇数番号）

14:55～15:35 総会

15:35～17:35 日本法中毒学会・日本中毒学会合同シンポジウム
「臨床中毒と法中毒の接点」

オーガナイザー：井上 博之（科警研）

福本 真理子（北里大薬）

S1-1

急性中毒の問い合わせ現状と最近の傾向

○黒木 由美子（日本中毒情報センター）

S1-2

臨床における薬物中毒の現状

○上條 吉人（埼玉医大病・救急・中毒センター）

S1-3

法医剖検診断における薬物分析の意義

○久保 真一（福岡大医・法医）

S1-4

臨床中毒：急性中毒に対する1つの分析方法

○斉藤 剛（東海大医・救命救急）

S1-5

犯罪捜査における薬物分析

○片木 宗弘（大阪府警・科捜研）

18:00～20:00 懇親会（会場：昭和大学病院入院棟17階 タワーレストラン昭和）

第2日目 平成30年7月7日（土）

9:10 受付開始

9:40～11:40 若手シンポジウム

「法中毒学へ新たな息吹をー若手研究者の可能性と多様性ー」

オーガナイザー：財津 桂（名大医・法医）

志摩 典明（大阪府警・科捜研）

S2-1

中枢作用薬に対する反応性を予測するための遺伝子多型解析と薬物動態学的解析

○曾田 翠（岐阜薬大）

S2-2

メタンフェタミンの細胞毒性に関する研究

○奈良 明奈（東北医薬大医・法医）

S2-3

毛髪中への薬物の取り込みについてー摂取後早期における薬物の挙動ー

○新田 篤志（大阪府警・科捜研）

S2-4

化学合成を主軸とした薬物対策と研究への応用

○浅田 安紀子（大阪健康安全基盤研）

S2-5

ジブトラミンによる血管細胞毒性の評価及び血管収縮機序の解明

○森川 嘉文（岐阜県警・科捜研）

S2-6

マウス大脳におけるCB₁受容体アゴニストが惹起するエネルギー代謝の擾乱と

ミトコンドリア機能障害の関連性

○大原 倫美（名大医・法医）

11:55～12:55 ランチョンセミナー3 主催 株式会社リガク

ランチョンセミナー4

主催 ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストイング株式会社

ランチョンセミナー5 フナコシ株式会社・Cayman Chemical Company 合同開催

13:00～14:10 ポスターセッション（偶数番号）

14:10～14:30 休憩、ポスター撤去タイム

14:30～15:25 一般講演②〈薬毒物分析1〉

座長 李 曉鵬 (昭和大医・法医)

O-7

LC-MS/MSによるヒト血清中*Veratrum*属、*Narcissus*属、*Solanum*属 アルカロイド一斉分析法の検討

○谷口 賢^{1,2}、中島 正博¹、財津 桂²、石井 晃² (1名市衛研、2名大院医・法医)

O-8

オンラインSFE-SFC-MSを用いたヒト頭髮中薬物測定

○河村 麻衣子¹、合田 隆大²、増田 潤一²、花尻 (木倉) 瑠理¹、袴塚 高志¹
(1国立衛研、2島津製作所)

O-9

タンデムカラム GC-MS による有機リン系殺虫剤アセフェートとその代謝物、溶媒の簡便な定量分析法の検討

○ウォーターズ ブライアン¹、原 健二¹、伊達岡 要²、柏木 正之¹、松末 綾¹、高山 みお¹、池松 夏紀¹、久保 真一¹ (1福岡大医・法医、2恵寿総合病院)

O-10

LC-Q-TOF-MSを用いた大麻草 (*Cannabis sativa* L.) のカンナビノイドの分析 ー第2報ー

○田中 理恵¹、水谷 佐久美¹、河村 麻衣子¹、淵野 裕之²、川原 信夫²、花尻 (木倉) 瑠理¹、袴塚 高志¹ (1国立衛研、2医薬健栄研・薬植セ)

15:25～16:05 一般講演③〈薬毒物分析2〉

座長 片木 宗弘 (大阪府警・科捜研)

O-11

超音波合成法を利用した機能性金ナノ微粒子の調製と簡便な高感度ネライストキシン農薬分析への応用

○高橋 史樹、山本 直人、等々力 深雪、金 継業 (信州大理)

O-12

法医剖検例における *p-cresol* の診断意義と臓器分布

○池松 夏紀、柏木 正之、原 健二、ウォーターズ ブライアン、松末 綾、高山 みお、久保 真一 (福岡大医・法医)

O-13

単毛髪のマイクロ分画分析を利用した死亡日推定

○桑山 健次¹、成相 舞花²、宮口 一¹、岩田 祐子¹、金森 達之¹、辻川 健治¹、山室 匡史¹、瀬川 尋貴¹、安部 寛子³、岩瀬 博太郎^{2,3}、井上 博之¹
(1科警研、2東大医・法医、3千葉大医・法医)

16:05～16:15 閉会の辞：次期年会長 久保 真一 (福岡大・法医)

ポスターセッション演題

ポスター設置タイム	7月6日(金) 9:10 ~ 9:30
ポスター掲示期間	7月6日(金) 9:30 ~ 7月7日(土) 14:10
ポスター発表時間(質疑応答)	
奇数番号の演題	7月6日(金) 13:35 ~ 14:45
偶数番号の演題	7月7日(土) 13:00 ~ 14:10
ポスター撤去タイム	7月7日(土) 14:10 ~ 14:30

P-01

KCNQ1及びKCNH2遺伝子多型と違法薬物使用中の突然死との関連性

○永澤 明佳¹、斉藤 久子¹、笠原 しおり²、石井 名実子³、千葉 文子^{1,2}、岩瀬 博太郎^{1,2}
(¹千葉大医・法医、²東大医・法医、³医科歯科大歯・法歯)

P-02

4'-Fluoropyrrolidinononanophenone 誘発神経細胞毒性におけるアルドクト還元酵素 1B1 の意義

○松永 俊之¹、森川 嘉文²、宮園 英駿¹、谷川 水規¹、鎌田 恭平¹、笹島 康秀²、末次 耕一²、佐藤 清人²、遠藤 智史¹、竹腰 裕二²、五十里 彰¹ (¹岐阜薬大、²岐阜県警・科捜研)

P-03

1-(5-Fluoropentyl)-3-pyridinoylindole及びその位置異性体の識別法の開発

○荒木 拓嗣¹、牧野 宏章³、松本 謙吾²、草野 麻衣子²、財津 桂²、田畑 英嗣¹、夏莉 英昭¹、高橋 秀依³ (¹帝京大薬、²名大医・法医、³東理大薬)

P-04

精密試料前処理装置 ATLAS-X の開発と生体試料中乱用薬物の分析への適用

○三木 昭宏¹、掛橋 秀直¹、松田 駿太郎¹、篁 直樹²、渡邊 勉²、石丸 麗子³、地中 啓³、草野 麻衣子⁴、土橋 均⁴、財津 桂⁴、片木 宗弘¹
(¹大阪府警・科捜研、²島津エンジニアリング、³石川県警・科捜研、⁴名大医・法医)

P-05

固相マイクロ抽出とオープンポートプローブを組み合わせた薬物分析の検討

○須賀 香屋子¹、Chang Liu²、Germán Augusto Gómez-Ríos³、Marcos Tascon³、Bradley B. Schneider²、Nathaly Reyes-Garcés³、Don W. Arnold²、Thomas R. Covey²、Janusz Pawliszyn³
(¹エービー・サイエックス、²SCIEX、³Department of Chemistry, University of Waterloo)

P-06

LC-MS/MS法を用いた非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の分離検討

○内海 貝、渡邊 一夫、Sharon Lupo、Shun-Hsin Liang、Frances Carroll、Susan Steinike、Paul Connolly、Ty Kahler (レステックコーポレーション)

P-07

4名の尿中5F-PB-22とその3種の代謝物(5F-PB-22 3-carboxyindole, PB-22 N-5-hydroxypentyl, PB-22 N-pentanoic acid)のLC-MS/MSによる高感度分析

○南方 かよ子¹、長谷川 弘太郎¹、山岸 格¹、野澤 秀樹¹、花尻 (木倉) 瑠理²、阿民 勿日他¹、権守 邦夫¹、鈴木 修¹、渡部 加奈子¹ (¹浜松医大・法医、²国立衛研)

P-08

モノリス型SPEスピントップUPLC-Q-ToF-MSを用いたヒト体液中フルニトラゼパムおよび代謝物の高分解能・高感度分析

○野口 藍¹、李 暁鵬¹、藤城 雅也¹、橋本 茉莉¹、長谷川 智華^{1,2}、栗城 綾子³、熊澤 武志^{1,4}、石井 晃⁵、佐藤 啓造¹、松山 高明¹ (¹昭和大医・法医、²東邦大医・法医、³昭和大江東豊洲病・脳神経、⁴聖隷大、⁵名大医・法医)

P-09

固相マイクロ抽出法及び溶媒抽出法を用いた生長段階別の大麻成分の分析

○久土 智也、藤井 広志、木口 昭夫 (九州麻取)

P-10

血液および尿中フェンタニル、アセチルフェンタニルおよび代謝物一斉分析法の構築

○久恒 一晃^{1,2}、金森 達之³、石場 厚¹、肥田 宗政¹、岩田 祐子³、土橋 均²、石井 晃²、財津 桂² (¹愛知県警・科捜研、²名大医・法医、³科警研)

P-11

自動前処理装置「ATLAS-X」とLC/Q-TOFMSを用いた肝臓中薬物スクリーニング法の構築

○草野 麻衣子¹、財津 桂¹、三浦 仁美¹、篁 直樹²、渡邊 勉²、石丸 麗子³、地中 啓³、片木 宗弘⁴、三木 昭宏⁴、土橋 均¹、石井 晃¹

(¹名大医・法医、²島津エンジニアリング、³石川県警・科捜研、⁴大阪府警・科捜研)

P-12

自動前処理装置「ATLAS-X」を用いたQuEChERS法による全血中薬物の抽出

○石丸 麗子¹、村上 貴哉¹、岩室 嘉晃¹、篁 直樹²、渡邊 勉²、三木 昭宏³、片木 宗弘³、草野 麻衣子⁴、土橋 均⁴、財津 桂⁴、地中 啓¹

(¹石川県警・科捜研、²島津エンジニアリング、³大阪府警・科捜研、⁴名大医・法医)

P-13

血中薬物分析に資するQuEChERSミニキットの開発と抽出条件の最適化

○松本 謙吾¹、財津 桂¹、井本 英志²、箕畑 俊和²、草野 麻衣子¹、渡辺 淳²、平野 一郎²、土橋 均¹、石井 晃¹ (¹名大医・法医、²島津製作所)

P-14

LC-MS/MSによるMRMスペクトルモードを用いた薬毒物の分析スクリーニング手法の開発

○井本 英志、芦田 剛士 (島津製作所)

P-15

骨試料からの薬物検出の試み

○矢島 大介^{1,2}、安部 寛子²、永澤 明佳²、岩瀬 博太郎^{2,3}

(¹国際医福大医・法医、²千葉大医・法医、³東大医・法医)

P-16

全血中薬物抽出における各種珪藻土の比較およびピットフォール

○奈女良 昭¹、斎藤 剛²、太田 茂徳³、中本 晃弘⁴、村田 和大¹、長尾 正崇¹

(¹広島大院医・法医、²東海大医・救命救急、³ジーエルサイエンス、⁴広島県警・科捜研)

P-17

三連四重極型質量分析計と四重極飛行時間型質量分析計を用いた法医薬物スクリーニング分析結果の比較

○安部 寛子¹、林田 眞喜子¹、三浦 みゆき¹、岡馬 恵介¹、小椋 康光^{1,2}、岩瀬 博太郎^{1,3}

(¹千葉大医・法医、²千葉大薬、³東大医・法医)

P-18

質量分析イメージングによる毛髪中薬物分布の詳細な可視化

○志摩 典明¹、鎌田 徹¹、三木 昭宏¹、松尾 英一²、山本 卓志²、青野 正信²、土橋 均²、
新聞 秀一³、片木 宗弘¹ (¹大阪府警・科捜研、²島津製作所、³阪大院工)

P-19

GC/MSによるメタボローム解析の妥当性評価

○原田 和生^{1,2}、岡嶋 千智²、吉田 紗季²、平田 收正²、松本 博志¹
(¹阪大院医・法医、²阪大院薬)

P-20

NeedLExを用いた解剖検体中エタノールのGC-MS分析

○岩井 雅枝、近藤 文雄、小川 匡之、鈴木 隆佳、妹尾 洋 (愛知医大・法医)

P-21

tert-butoxycarbonyl-メタンフェタミンの熱および酸に対する安定性の研究

○倉上 大祐¹、杉江 謙一²、阿久津 守² (¹東北麻取、²関東麻取・鑑定課)

P-22

GC-IRによるフルオロフェンエトラジンの分析事例

○内川 貴志、大槻 光彦、森田 敦、春田 祐輔 (佐賀県警・科捜研)

P-23

死体血中覚せい剤濃度の部位依存性について

○吉留 敬^{1,3}、守屋 文夫^{2,3}、三浦 雅布³、宮石 智³
(¹川崎医大・衛生、²川崎医福大・保健看護、³岡山大院医・法医)

P-24

火災関連事例における燃焼生成ガス中毒の判定について

○奥田 勝博、浅利 優、田中 宏樹、磯崎 翔太郎、山田 ひろみ、堀岡 希衣、塩野 寛、
清水 恵子 (旭川医大・法医)

P-25

自然毒による中毒事例とその分析方法

○木村 圭介、田中 智哉、観 公子、中野 久子、笹本 剛生
(東京都健安研セ)

P-26

麻酔薬プロポフォール使用の自殺事例における血中分析例

○近藤 忍 (愛媛県警・科捜研)

P-27

幻覚性キノコ成分シロシンのオンサイト分析を目的とする新規モノクローナル抗体の作製

○森田 いずみ¹、大山 浩之¹、田中 理恵²、花尻 (木倉) 瑠理²、小林 典裕¹
(¹神戸薬大、²国立衛研)

P-28

抗 Δ^9 -テトラヒドロカンナビノールscFvの部位特異的変異導入による試験管内親和性成熟の試
み

○大山 浩之、肥越 ひかる、小林 奈津子、田口 歩維、比嘉 ひかり、森田 いずみ、
小林 典裕 (神戸薬大)

P-29

指定薬物deschloroketamine及び2-fluorodeschloroketamineの理化学試験及び動物行動試験結果
○寺岡 大輔、坂本 美穂、齋藤 友里、田中 一絵、佐伯 祐樹、長嶋 眞知子、湯澤 勝廣、
長澤 明道、長谷川 悠子、安藤 弘、久保 喜一、海銚 藤文、五十嵐 海、吉田 正雄、
中嶋 順一、鈴木 仁、鈴木 俊也、猪又 明子、守安 貴子（東京都健安研セ）

P-30

合成カンナビノイドのマウス吸入暴露試験における動物行動と化学構造の変化
○鈴木 淳子¹、中嶋 順一¹、吉田 正雄¹、小縣 昭夫²、多田 幸恵¹、長澤 明道¹、湯澤 勝廣¹、
安藤 弘¹、久保 喜一¹、高橋 博²、海銚 藤文¹、田中 和良¹、長谷川 悠子¹、五十嵐 海²、
鈴木 郁雄¹、清水 聖子¹、高橋 美佐子¹、浦出 朋子¹、植村 望美¹、内本 勝也¹、清水 雅子¹、
渡辺 大介³、森田 貴教³、宇佐美 孝³、石原 恵³、残熊 佑子³、大久保 栄太³、河野 安昭³、
平井 正博³、早乙女 芳明³、坂本 美穂¹、鈴木 俊也¹、鈴木 仁¹、猪又 明子¹、守安 貴子¹
（¹東京都健安研セ、²元東京都健安研セ、³東京都福祉保健・健康安全）

P-31

合成したフェネチルアミン誘導体の薬理評価および構造毒性相関に関する研究
○須山 翔太¹、佐能 正剛¹、梅原 祥太¹、奥田 勝博²、太田 茂^{1,3}、古武 弥一郎¹
（¹広島大院医歯薬保健、²旭川医大・法医、³和歌山県医大）

P-32

コカインが骨芽細胞様細胞MC3T3-E1の分化に及ぼす影響
○菅野 さな枝、大瀧 純、加藤 秀章、福田 真未子、堀田 哲也、中村 昌美、青木 康博
（名市大医・法医）

P-33

薬物の血中致死濃度予測モデルの検討
○坂 幹樹¹、工藤 恵子²、榎野 陽介¹、池田 典昭²、岩瀬 博太郎^{1,3}
（¹東大医・法医、²九大院医・法医、³千葉大医・法医）

P-34

カフェインの薬物トランスポーターを介した体内動態について
○千葉 正悦、井川 亨、呂 彩子、大出 透乃、一場 一江、鷲 盛久、向井 敏二
（聖マリアンナ医大・法医）

P-35

エタノール消毒後の採血で血中にエタノールは混入するのか？
○中尾 隆美¹、植嶋 利文¹、丸山 克之¹、木村 貴明¹、太田 育夫¹、濱口 満英¹、津田 紀子¹、
西岡 裕²、片木 宗弘²（¹近畿大医・救急、²大阪府警・科捜研）